

平成23年度第3回「市長とランチでトーク」

- 開催日 平成23年10月26日（月曜日） 12:00～13:00
- 内容 市役所3階第2応接室にて市長と懇談
- 出席者 <参加者> 姿川地区健康づくり推進委員会 9名
<市側> 市長

- 主な内容（抜粋）

＜健康について＞

参加者： 健康のためには、「家に閉じこもらずに外へ出ること」と皆さんに伝えているが、なかなか効果が上がらないのだが何かいい方法はないか。

市長： これからは、健康寿命を延ばして、なるべくお医者さんにかからなくて済む、寝たきりに絶対ならない、という健康増進を意識した生き方を促進する施策が必要です。

近年散歩される方が結構増えているところで、散歩される方がただ家の周りを回って帰ってくるのではなく、最寄りの公園において、高齢者向けの健康遊具、つまり補助があって簡単に懸垂が出来たり、自転車をこいだりする器械などで体を動かす。そこで友達が出来れば、では一緒にストレッチをしに地区市民センターに行ってみようか、みたいな事で輪が広がって行くと体にも心にもいい。そのようなことも行っていきたいと思います。

＜地域内交通について＞

参加者： 地区内には買い物のできる大きな店舗がないし、住民の中には地区市民センターにも、駅にも足が無くても行けないという人もいますが、地域内交通を市ではどのように考えているか。

市長： 市内には、そういったお店の無い地区がいくつもあります。車の運転が出来るうちは良いけども出来なくなったら買い物もままならない。そういった地区には、地域内交通が必要となるので、いま各地区で整備を始めています。

先週は国本地区でスタートして、今週は篠井地区でスタートする。今後、全地区に出来るようにしていきたいと思います。

公共交通は、ある意味では福祉です。圧倒的に高齢者の方が増えた時のために用意しておかないと大変なことになります。このことから、行政も支援をしています。

《栄養教室について》

参加者： 栄養教室の参加者は女性が多い。男性を参加させたいが何かよい手はないか。

市長： 正直、料理も出来ない掃除も出来ない男性が、奥さんに先立たれてあとに残ったら大変です。若いうちから料理も出来るようにしないといけないと思います。私も、いろんな所に行ってそういう話をしています。とにかく料理もやれるようにした方が良いですね。男の料理と言うコースがあれば、私もどんどん行きます。

《女性職員の登用について》

参加者： 女性職員を多く登用し、女性の意見を聞いて頂きたい

市長： 市の審査委員会や協議会では、男女共同参画社会の実現という事で25%程度は女性に組織の中に入れて頂いています。

現在は「男尊女卑」そういう時代ではありません。男女での役割分担とか課題があるのは当然だと思えますが、それを排除して行かなければいけないと思います。宇都宮市は、議会も女性議員は多い方ですよ。



姿川地区健康づくり推進会のみなさん